

3年 道徳通信

〇〇〇立〇〇〇中学校
3年 〇組担任 〇〇〇〇

◎「今日の道徳授業」の紹介

教材名 24「足袋の季節」

ねらい： おばあさんを裏切った許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感し、自らの弱さや醜さを克服する強さを持ち、人間として気高く生きようとする態度を育てます。

■教材の内容について

足袋が欲しいあまりに餅売りの老婆から釣り銭をごまかしてしまう作者は、後悔と自責の念に苦しみます。老婆の死を知り、自らの人格を回復することができなくなります。その後、老婆からもらった心を支えに強く生きていきます。作者が自分の犯した過ちを謙虚に受け止め、前向きに生きていこうとする生き方は、生徒に深い感動を与えます。また、生徒にもこれに似た経験を大なり小なり持ち合わせていると思われるので、すぐに作者の気持ちに入り込むことができるでしょう。

■生徒の実態について

中学生の時期は誘惑に負けたり、やすきに流れたりする傾向が見られます。その中で自信を失ったり、劣等感にさいなまれたりします。しかしその一方で、理想とする生き方に関心が高まってくるときでもあります。失敗を素直に受け止め、そのことにこだわりすぎず、むしろそれを糧とすることで、弱さを克服し、生きることに喜びを見いだすようにしたいです。

■ご家庭へ

人は、時として人間のもつ弱さや醜さから誘惑に負け、過ちを犯したり失敗したりすることがあります。こうしたとき、弱さや醜さを素直に認め、その克服に努めて、人間らしい温かい心を育てていくことが大切です。中学生の時期には、過ちを犯したり失敗したりすることは誰にでもあると思います。大切なのはその経験を次に生かすことです。ご家庭では、お子さんの過ちや失敗に気づかれたときは、人にはその弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努めるよう助言され、見守っていただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・キリトリセン・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ご意見やご感想、家庭でお子さんと話題にしたことなどぜひお寄せください。()